

その仕事は「面白い」か？



株式会社ミック
代表取締役社長 松本 喜博

MIC に入社した時、たとえば営業という枠の中だけでなく、そこからはみ出すようなことにも、自由にどんどん取り組ませてもらいました。失敗もしましたが、「仕事が面白い」と思うようになり、のびのびと楽しんで仕事のできたものです。「仕事は面白いもの」、これが私の仕事に対する考えの原点です。

「その仕事って面白いの？」と社員に聞くことがよくあります。もちろん楽しくて面白いことばかりならば、それは遊びになってしまうかもしれません。仕事ですから辛いこと、苦しいこと、面倒なこともあるでしょう。当然のことながら責任も伴います。でも私は思うのです。「いやなことの中にも、よくよく考えてみれば、面白いところはあるはず。それを見つけたら、もっと楽しくなるのではないか。」

MIC は、社員に、のびのびと働き活躍する場を提供したいと努めてきました。これからも、皆が自分なりの面白さをそれぞれ見つけていくことで、ますます効率もあがり、さらに一丸となって王道を歩むことができる会社にしていきたいと考えています。それこそが、「もっと、人と医療のそばへ。」の実践に繋がると信じているからです。

私自身も、これから社長を務めていくうえでの面白さを見つけていくつもりです。